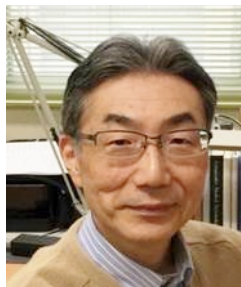


シーズ分野;基礎医学 病理学

研究シーズ;MHC同定カニクイザルを用いた前臨床試験

—移植、癌、感染症、子宮内膜症の治療研究—



滋賀医科大学【理事(研究・企画・評価等担当理事)
病理学講座 疾患制御病理学部門
教授 小笠原 一誠

「移植や免疫の研究に使えるカニクイザル」

■関連文献・特許

- ・特願2011-71475
- ・Immunogenetics (2009) 61:635-648
- ・PLoS ONE (2012) 7(5): e37220

■研究概要

移植や免疫反応に関与する遺伝子群【主要組織適合遺伝子複合体(MHC)】が同一なカニクイザルを繁殖・維持できる技術を有している。これらのカニクイザルは、マウスやラットなどと同じように、均質な生体反応が期待できる実験動物として利用可能であり、特に、臓器およびiPS細胞移植、癌、感染症、子宮内膜症の臨床応用および治療研究を行っている。

■応用展開・共同研究テーマ例

- ・免疫抑制細胞を除去するカラムを使用した癌治療の研究
- ・免疫寛容カニクイザルを使用した移植実験の研究
- ・子宮内膜症の治療に関する研究

■研究者からのお願い(ニーズ)

- ・種々の疾患モデルを用いた(作製する)共同研究がしたい
- ・MHC同定カニクイザルを使用した移植実験の共同研究がしたい
- ・基礎研究から臨床研究を連続して実施する共同研究がしたい

特定の主要組織適合遺伝子複合体(MHC)を有するカニクイザルとそれを用いた実験例

同一対のMHCを有する細胞

移植可能

片対のMHCが同一の個体

サルを使用した前臨床試験

骨髄移植

感染症

腫瘍

再生医学

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp